

国立地域振興タイムス vol. 36

指定企業紹介特集 いま市内には南部地域を中心に10社の指定企業が立地しています。本号では指定企業第3号及び第12号の指定を受けた『TOKYOフレッシュ(株)』の事業内容や地域活動などをレポートします。

畑から食卓までをコーディネートする、野菜と果物の専門商社

TOKYOフレッシュ株式会社

畑から売り場までをネットワーク化

青果流通の司令塔。国立本社

TOKYOフレッシュ株式会社は、産地や市場から野菜や果物などを仕入れ、全国の百貨店やスーパーマーケットなどの小売業者の皆様へ販売しています。



TOKYOフレッシュ本社 事務所

本社は中央高速自動車道、国立・府中インターチェンジのすぐそばにあり、都心はもとより関東全域をカバーし、より広域のお客様へサービスを提供しています。また、本社はTOKYOフレッシュグループの連携拠点として商品物流や各種情報をコントロールする司令塔の役割も果たしています。

TOKYOフレッシュが現在保有するのは、国立、東久留米、川崎、大田の4つの市場内拠点と、市場外拠点として本社事務所の近くにある自社流通拠点の国立センターです。グループの拠点間ネットワークを駆使することで、それぞれの市場特性や市場間の入荷格差に影響を受けることなく、安定した集荷と供給を実現しています。



朝の市場の様子

新鮮で効率的な商品流通を可能にする

コールドチェーン(低温流通)システム

グループ全体で合計約800坪の専有低温施設を完備することで、コールドチェーン(低温流通)に対応しています。それぞれの青果物に適した状態で管理し、新鮮な商品を小売業者のもとへ届けています。

産地では天候の状況や青果物の性質上、正確な出荷量を調整することは難しく、一方、小売店舗は限られたスペースでの保管が必要です。そこでTOKYOフレッシュが入荷量と納品量を調整することで、両者にとって効率的な商品流通を可能にしています。

納品先は、百貨店から量販店、青果専門店、ミニスーパー、コンビニなど、小売業種全般に渡り、幅広く展開しています。関東圏だけではなく北海道から西日本各地まで、全国で1,000を超える店舗に納品しています。

TOKYOフレッシュは、1967(昭和42)年に創業し、今年で創立50年を迎えました。関根社長からは、『今後も青果物の幅広い集荷と安定供給をより一層強化し、「豊かな自然と文化・芸術の薫る街」である国立市の発展に、少しでも貢献できるよう努めてまいります。』との力強いお言葉をいただきました。



低温施設による鮮度管理



各納品先へ商品を分ける荷捌場

高度化する物流環境に対応

新たな拠点 国立センター

TOKYOフレッシュは、国立市谷保に新たな流通拠点として、2014年に国立センターを設立し、翌2015年に隣地に同センターを拡張しました。青果物の管理に最適な温度帯の冷蔵設備、商品加工を行うパッケージング設備および荷捌（にさばき）場スペースを装備した最新の自社センターです。



TOKYOフレッシュ本社 国立センター



レーンで効率よく作業

3階建てのパッケージ棟は1階が冷蔵施設、2・3階はパッケージ場になっています。パッケージ場では常時約30名のスタッフが加工作業をしています。

国立センターは日々高度化する物流環境に対して迅速かつ効率的に稼働しています。グループ唯一の市場外拠点として、安全かつ高品質な商品を安定供給する役割を担っています。



パッケージされたみかん

変化する顧客ニーズに対応し、付加価値を創造

スタッフからのメッセージ

◆ 営業部より

私たちが扱う商品は、工場で作られ、カタログで商品番号が決まっているものではありません。季節や収穫量、天候で入荷状況が毎日変わります。急な雨や雪が降れば、事前の予想と異なる入荷量、消費量になることはよくあることなのです。そうした環境的要因の中でも、お客様に安定して商品を提供できるよう常に心がけています。



産地から入荷したリンゴ

◆ 商品開発室より

営業部と連携し、既存の商品に新しい価値を付加する仕事や、新商品の企画開発を行っています。

お客様に対して、商品供給のみならず、店舗での販売方法を提案したり、店の陳列棚に設置する広告の制作を行っています。また青果物の調理方法や食べ方を、実際に当社のスタッフが店頭立ち、消費者に向けてご案内をする当社独自のサービスもあります。



各種ポップ広告・リーフレット

今後も、変化するお客様のニーズに対応した商品やサービスを提供し、TOKYOフレッシュとして新たな付加価値を創造してまいります。

TOKYOフレッシュについて



くにたちとの関わり

- TOKYOフレッシュは1967（昭和42）年の創業以来、“青果物の安定供給を実現し、社会に健康を提供する”という考えのもと、長年に渡り取引先や地域の皆様と共に歩んできました。
- 国立市における事業活動は、1990（平成元）年東京都国立地方卸売市場内に国立支店を構えたことが始まりです。2010（平成22）年1月には、国立市谷保に本社を移転し、2014（平成26）年5月に青果物の保管倉庫の拡張及び荷捌きスペース確保を目的に、新拠点として国立センターを設立しました。
- 例年、さくらフェスティバルや秋の市民祭りに協賛金を拠出して頂いているほか、昨年の市主催イベント『やほ歴史探訪&たま青果市場探検団』では、お土産の提供を受けました。



会社概要



- 社名 TOKYOフレッシュ株式会社
- 設立 1967（昭和42）年7月（創立50年）
- 資本金 5,000万円
- 代表者 代表取締役社長 関根 敏貴
- 社員数 役員5名 社員105名 パート47名
- 事業内容 青果物全般（野菜、果物、加工食品）の卸売業
- 所在地 〒186-0011 東京都国立市谷保478-1
- 子会社 TOKYOフレッシュ大田株式会社・有限会社三栄
- 加盟団体 東京大田市場青果卸売協同組合、新神田市場青果卸売協同組合、川崎北部青果仲卸協同組合